

# ダニエル・カールの

# 聞きたい! 消防団

第28回

## 山梨県甲府市消防団

今回は、東京から特急で約1時間半をかけ、山梨県甲府市をお訪ねしました。

甲府市消防団は、消防基金が助成するS-KYT研修を積極的に開催し、公務災害防止に努めておられるほか、入団促進についてもユニークな取組をされているそうです。また、甲府市は今年、開府500年という節目の年をむかえ、大いに

盛り上がっています。そんな甲府市の消防団の様々な取組についてお聞かせいただきたいと思っています。それでは、さっそく甲府市の樋口雄一市長と甲府市消防団の岩下英二団長、長田副団長、川手副団長、中野副団長、甲府地区広域行政事務組合消防本部消防団係の大柴司係長からお話を伺いましょう。



前列左から、岩下団長、ダニエル・カール氏、樋口市長  
後列左から中野副団長、長田副団長、川手副団長  
(甲府市役所で撮影)

## 甲府市の概要について

**ダニエル** まず初めに、甲府市について、簡単にご紹介をお願いします。

**樋口市長** 甲府市は、山梨県のほぼ中央にあり、人口188,406人(平成31年3月1日現在)、市域は東西15.3km、南北41.5kmと南北に細長い形をしています。

名物としては、モンドセレクション金賞を受賞した「甲府の水」や全国B-1グランプリで優勝した「甲府とりもつ煮」が有名です。また、日本一の渓谷と言われる昇仙峡は「平成百景 第2位」、甲府盆地の夜景は「平成百景 第13位」となっています。



甲府盆地の夜景

ワインの生産でも有名で、甲府が発祥の地と言われています。ジュエリーは日本一の生産額を誇り“宝石のまち”と呼ばれています。

**ダニエル** とりもつ煮は今日初めて食べましたが、とても美味しくてびっくりしました。果物やワインの生産でも有名で、東京からも近く、とてもいいまちだと思います。

**樋口市長** ありがとうございます。

**ダニエル** それから、今日ここに来るまでに、市内のいろいろなところで500年記念のポスターやパンフレットを目にしました。

**樋口市長** 甲府は今年で開府500年を迎えます。500年前、武田信玄公の父親の武田信虎公

が現在の武田神社の場所に館を移し、大規模な城下町の整備に着手して、現在の甲府のまちの原型が作られました。

**ダニエル** 甲府市は歴史の古い町なのですね。

**樋口市長** そうですね。

**ダニエル** もう一つ、甲府市が中核市になるというお話を耳にしました。

**樋口市長** はい。甲府市は平成31年4月1日から中核市に移行します。4月1日に新元号が発表されますが、甲府市はそれと同時に中核市元年にもなります。

さらに、今年(平成31年)は明治22(1889)年に市制を施行してから130年目という節目の年でもあります。

**ダニエル** 甲府市にとって、今年はとても大きな1年になりそうですね。

**樋口市長** そうですね。再来年には武田信玄公生誕500年の記念の催しもあり、ここ数年にかけて記念行事が続きます。2027年にはリニア中央新幹線の駅が建設する予定です。

**ダニエル** イベントが盛りだくさんですね。リニアモーターカーが開通したら、東京からのアクセスがさらに良くなりますから、観光に来る人も増えそうですね。



舞鶴城と桜

## 甲府市消防団について

**ダニエル** では次に、甲府市消防団の概要を教えてください。

**大柴係長** 甲府における消防の歴史は古く、万治3(1660)年に600人で作られた火消組合がその始まりであるとされています。

現在の甲府市消防団は、1本部、32分団で構成され、団員数は平成31年3月1日現在で1,258名(女性団員36名、学生団員17名)です。また、消防ポンプ自動車26台、小型動力ポンプ積載車64台を配備しています。

**ダニエル** 消防団員の条例定数はどのくらいですか？

**大柴係長** 1,333名です。

**ダニエル** 現在の団員数は1,258名ですから、充足率は高いですね。1,200人以上を抱える消防団というのは全国的に見てもかなり規模が大きいと思います。

**岩下団長** そうですね。一時団員数が減った時期もあったのですが、近年では団員数も再び盛り返してきています。

**ダニエル** 女性団員の方もいらっしゃるんですか。

**岩下団長** はい。現在36名が在籍しております。女性消防団員の入団が始まったのは、平成13年ですが、女性の入団が増え始めたのは4~5年前くらいからです。

**ダニエル** では、女性団員の方は最近入団された方が多いのですね。団員の皆さんの平均年齢はどのくらいでしょうか？

**岩下団長** 全体で見れば44歳くらいですが、地域ごとにばらつきがあります。

**中野副団長** 比較的若い方が多く入団する分団もあれば、年配の団員の比率が多い分団もあります。

**ダニエル** やはり、市街地の分団と、山に近いところの分団では構成する団員に違いが出るのでしょうか。バランスを取るのが難しそうですね。

## 災害の対応について

**ダニエル** 甲府市で最も心配される災害はなんですか。

**岩下団長** 最も気にかけているのは山火事です。林野火災には常に気を配っています。

**ダニエル** やはり、山に囲まれているだけあって、山火事が多いのですね。僕の故郷のカルフォルニアも山火事が多い地域なのですが、鎮火までに時間がかかるので大変なのですよね。

**岩下団長** そうですね。水利が取れないところもありますし、大型の車が入れないところもあります。



林野火災の様子1



林野火災の様子2

**岩下団長** 甲府市消防団は32分団ありますが、その中で山間の地区の分団もあれば、川沿いの分団もありますし、市街地の分団もあります。

**ダニエル** 先ほど、甲府市は南北に長いというお話を伺いましたが、地域ごとの特性が大きく異なるのですね。

**岩下団長** はい。地区ごとに違う状況に対応することになりますので、いろいろな災害を想定する必要があります。

**ダニエル** 市街地と山間地では訓練の内容も違うのでしょうか。

**岩下団長** そうですね。合同で訓練することもありますし、32分団を5ブロックに分けて、ブロック別に訓練を行っています。

**ダニエル** なるほど。それで、分団ごとに情報交換したりすることもあるのですね。そういえば、山梨県では数年前に大雪が降ったこともありましたよね。

**岩下団長** はい。平成26年に記録的な積雪がありました。観測史上最大の積雪で、甲府市内で114cmの積雪を記録しました。

**ダニエル** その大雪が降った1週間後くらいに山梨で仕事があったのですが、まだだいぶ雪が残っていたので驚きました。

**岩下団長** 除雪が追い付かず、民家が孤立したり、道路が渋滞するなどの状態が3週間ほど続いたかと思います。

**川手副団長** 他にも農家のビニールハウスが潰れるなど、深刻な被害が出ました。

**長田副団長** あれほどの積雪は初めての経験だったので、大変驚きました。

**ダニエル** 当時、消防本部の皆さんも団員の皆さんも大変な思いをされたと思いますが、団員の皆さんはどのような活動をされたので

しょうか。

**川手副団長** まずは雪かきですね。出勤できなければ始まりませんので、家の周りや詰所の周辺などを頑張って除雪しました。

**ダニエル** 除雪車などは使用されなかったのでしょうか？

**岩下団長** 除雪車はありませんでしたから、ほとんど人海戦術でした。例年だと、甲府市では30～40cm積もれば多い方だったので、これほどの積雪に対する備えはなかったのです。大雪を想定した訓練もありませんでしたから、予想外の雪害に対応するのが大変でした。

**長田副団長** 救急車が近くまで来られるように近所の団員が道路の雪かきをしたり、火災が起きたら先に消火栓の周りだけでも雪をかいておくなど、人の力で対応しました。

**ダニエル** そういった時に、人手の多い消防団は重宝されますよね。

**岩下団長** そうですね。想定外の災害が発生した際には、やはり人の力が頼りです。

## 公務災害防止の取組

**ダニエル** 団員の方の公務災害防止のためになにか取り組まれていることはありますか？

**岩下団長** 平成27年度から、毎年、消防基金の助成によるS-KYT研修を継続して実施しています。

**大柴係長** 受講した団員からは『楽しかった』『良い経験になった』など、前向きな感想があがっております。

**ダニエル** ありがとうございます。僕も一度、S-KYT研修を受講したことがあるのですが、消防団員の皆さんの事故や怪我を防ぐためにはとても有効だと思いました。

**岩下団長** そうですね。まずは怪我無く活

動できることが第一ですから、団員の方たちの意識を底上げするためにも、継続して受講したいと考えています。



S-KYT研修の様子

**岩下団長** また、研修を受講するのも大事ですが、装備の充実も図っていきたいと考えています。

**ダニエル** そうですね。装備を揃えることは、団員の皆さんの安全に直接的に関係あることですから大事ですよ。

**岩下団長** 今までには一律に同じ装備を配備していたのですが、今後は地域の特性に合わせた装備を配備することが必要になってくるかと思っています。

例えば、山火事を鎮火するために放水すると山肌が濡れて普通の靴では登りづらくなります

から、山火事が想定される分団には滑りにくい安全靴を配備したり、水害が想定される分団には水中ポンプを配備したり、想定される状況に応じた装備品を揃えて、事故の防止に努めたいと思っております。

## 入団促進のための取組

**ダニエル** 消防団への入団促進のために取り組まれていることがあれば教えてください。

**岩下団長** 入団促進と言えるかどうかはわかりませんが、若い団員向けに婚活支援の事業を行ったことがあります。

**ダニエル** 婚活ですか。とてもユニークな企画ですね。この取組は最近始まったのですか？

**中野副団長** 平成25年度から取り組んでいます。現在までに5回ほど開催しました。

**岩下団長** 残念ながら結婚まで至ったカップルはおりませんが、いろいろな人と知り合う機会になるといいと思います。

**ダニエル** 消防団員の皆さんは様々な年齢層や職業の方がいらっしゃいますから、いろいろな方との出会いがあるところが魅力なのでしょうね。

**岩下団長** はい。自分とは全く違う業種の方と交流する機会はなかなかないと思いますので、知り合う機会のなかった若い人たちの交流の場になればいいなと思います。

**長田副団長** また、参加される女性の方は、相手が消防団員だということを知ったうえで参加して下さっていますので、団員にとっては消防団に理解のある方と出会えるチャンスになるのではないかと思います。

**ダニエル** なるほど。やっぱり消防団の活動に理解を示してくださる女性と知り合えるか

どうかも重要ですよ。

**岩下団長** 昨年は行事の予定が多く入っていたため、実施できなかったのですが、そのうちまた実施できればと思います。

**ダニエル** いろいろな行事やイベントを消防団で企画してくれるのは楽しそうですね。他には何か取り組まれていることはありますか？

**岩下団長** 他にも、消防団のサポート事業を行っています。消防団協力事業所となっている市内の飲食店、小売店などで消防団員身分証明書を提示すると、料金の割引などの優遇措置を受けられるというものです。

**ダニエル** それはいいですね。

**長田副団長** 団員だけでなく、その家族も割引を受けることができます。この制度には興味を示してくださる方が多いですね。

**ダニエル** 団員さんもそのご家族も割引を受けられて嬉しいですし、協力して下さっているお店の方も利用客が増えるかもしれませんね。

**岩下団長** そうですね。お互いに持ちつ持たれつというか、協力し合える関係を今後も続

けていけたらと思います。

## 対談を終えて

これまでも甲府市には何度か訪れたことがありましたが、長く滞在する機会がありませんでした。しかし今回、甲府市の皆さんから直接甲府市の良いところを聞かせていただいて、とりもつ煮や信玄公祭りなど、見どころの多い町だということが改めて分かりました。さらに、今年は開府500年の節目の年ということで、まち全体が活気づいているような感じがしました。

今回お話をお伺いした消防団長をはじめ、消防本部の皆さんも、若い消防団員の方のために婚活事業の取組をおこなったり、お祭りやイベントでお忙しい中でもS-KYT研修に積極的に取り組んでおられるとのことで、団員の方のことをよく考えておられることが伝わりました。

これからも、ぜひ、消防団員の皆さんで甲府市を盛り上げて行ってほしいですね。

(ダニエル・カール)